

# 2020年



## トンペイ 東北クラブ

	中新田サッカーラブ	マリソル松島SC	KEMONO in楳木	六郷クラブ SC	東北クラブ	田尻FC	登米サッカーラブ	SC75
中新田サッカーラブ		0 - 1 ●	2 - 8 ●	3 - 0 ○	0 - 1 ●	2 - 1 ○	7 - 1 ○	1 - 0 ○
マリソル松島SC	1 - 0 ○		5 - 1 ○	1 - 0 ○	1 - 0 ○	2 - 3 ●	3 - 0 ○	1 - 0 ○
KEMONO in楳木	-	-		1 - 4 ●	2 - 0 ○	0 - 2 ●	2 - 2 △	2 - 1 ○
六郷クラブ	8 - 2 ○	1 - 5 ●	-	-	3 - 1 ○	3 - 1 ○	0 - 6 ●	1 - 1 △
東北クラブ	0 - 3 ●	0 - 1 ●	4 - 1 ○		1 - 3 ●	1 - 2 ●	2 - 3 ●	1 - 6 ●
田尻FC	0 - 0 ○	0 - 1 ●	0 - 2 ●	1 - 3 ●		-	-	-
登米サッカーラブ	-	-	-	-	-	-	-	-
SC75	1 - 7 ●	0 - 3 ●	2 - 2 △	6 - 0 ○	3 - 2 ○	3 - 2 ○		0 - 4 ●

第44回 宮城県サッカーリーグ2部成績表

チーム名	試合数	勝ち	負け	分け	得点	失点	得失点	勝ち点	順位
1 中新田サッカーラブ	7	4	3	0	15	12	3	12	2
2 マリソル松島SC	7	6	1	0	14	4	10	18	1
3 KEMONO in楳木	7	3	3	1	16	16	0	10	4
4 六郷クラブ	7	3	3	1	11	14	-3	10	5
5 東北クラブ	7	1	6	0	6	17	-11	3	8
6 田尻FC	7	3	4	0	11	14	-3	9	7
7 登米サッカーラブ	7	3	3	1	15	20	-5	10	6
8 SC75	7	3	3	1	15	6	9	10	3

## 2020年 全試合一覧

No	月日	試合名	キック オフ	勝 敗	スコア	相手	場所
1	7/12	クラブ選手権2回戦	11:00	●	2-3	田尻FC	アディダススポーツパーク
2	8/23	宮城県リーグ第1節	9:30	●	2-3	登米SC	東和総合運動公園
3	9/6	宮城県リーグ第2節	12:00	●	1-2	田尻FC	松島FBC1
4	9/20	宮城県リーグ第3節	13:00	●	1-6	SC75	東和総合運動公園
5	10/4	宮城県リーグ第4節	14:30	●	0-1	マリソル松島SC	松島FBC1
6	10/25	宮城県リーグ第5節	14:00	○	1-0	中新田SC	みやぎ生協めぐみ野サッカー場C
7	11/8	宮城県リーグ第6節	10:00	●	0-2	KEMONO IN 楓木	アディダススポーツパーク
8	11/22	宮城県リーグ第7節	12:00	●	1-3	六郷クラブ	みやぎ生協めぐみ野サッカー場C

### ■2020年7月12日（日曜日）クラブチーム選手権2回戦 対田尻FC戦

試合開始 11:00 (30分ハーフ) 場所：アディダス・パーク

【結果】 2-3で負け

【得点者】 坂井響(1点目)、小松卓(2点目)

【アシスト】 河村一朗(1点目)、山崎大河(2点目)

【スタメン】 GK：小西 賢

D F：長谷川昂輝、山崎大河、勝又幸祐、西岡祐紀

M F：今野琢人、河村一朗、八重樫英一郎、土肥功之介、  
中谷翔

F W：坂井響

【控え】 小松卓

【交代】 中谷翔→小松卓(後半5分)

【警告】 八重樫英一郎

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【副審】 秋保盛樹(12:00～)

【評】

ようやく待ちに待った2020年度のサッカーが開幕した。

今年は、2月頃から新型コロナウィルスが急速に感染拡大し、非常事態宣言で全ての競技がプロ・アマ問わず自粛・中止になった。

毎年メンバーが半数近く入れ替わるので、メンバーにお願いして紹介してもらい何とか揃って、4月の開幕を待つばかりだったが、3ヶ月遅れでスタートとなった。

開幕できたという嬉しさの反面、季節は「梅雨」である。例年今頃は、大

雨の災害で痛ましいニュースが流れる。今年も、7月初めから九州地方を中心に観測史上初となるような集中豪雨で被害が出ている。東北地方も九州地方ほどではないが、警戒が出されていて、今日もお昼頃から激しい雨が降る予報であった。

9:30集合。場所はアディダス・パーク。集まったのは12名。その中で5名が新しいメンバーである。初めての顔合わせでわからない上に、コロナ対策で皆マスクを付けているので余計わからないので、自己紹介から始めた。この頃はまだ雨はパラパラだった。しかし、だんだん雨が激しくなり、シャワーのような雨になる。あっという間に皆ずぶ濡れになった。暑いより雨の方がまだマシだが、こんな雨は願い下げである。

11:00キックオフ。相手は田尻FC、ここ毎年県リーグで残留をかけて厳しい試合をしているチームである。我々より1週間早く先週試合開始となり、試合の勘を一足先に戻しているように見える。対して我がトンペイクラブはメンバー全員が今日初顔合わせである。毎年、新メンバーで連携プレーが機能するには3ヶ月以上かかっている。また、試合に体が慣れるのにも3試合くらいは必要であると思っている。個人で体を調整してきてくれているとは言え、限度がある。トーナメントなので勝って次回につなげたいが、欲を出さずに、まずはセオリー通りのプレーで試合を運ぶこととした。

あれほど激しかった雨も、試合開始の時には上がった。しかし、グランドには所どころ水溜りができ、思ったようなボール・コントロールができない。相手も同じで、普通なら繋がるパスが途中で止まり、相手にとられ、ドリブルしたボールが水たまりで止まり相手と奪い合う・・その繰り返しで体力をいたずらに消耗していく展開となった。

15分、コロナ対策の一環で給水ボトルを共有して飲水することができなくなったので「給水タイム」が毎試合設けられることになった。一息つけるかと思いきや、マイ・ボトルが見つからず給水できない選手もいたようであった。

17分、相手は持ち前のスピードとDFの裏にパスを出して走りこむ得意のパターンで先取に成功する。0-1。その後しばらくは相手のペースで試合が進む。こちらも少しずつ試合に慣れていく。

22分、思ったようにパスが通り、シュートまで行くがゴールには至らない。25分、河村が相手陣内の左の深い所まで十八番(おはこ)のドリブルでGKをおびき出し、ゴール前に速いボールをクロスさせる。ゴールに誰かが突っ込んだ。「ガン！」という音とともにガゴーンネットが揺れていた。FW坂井が相手DFと一緒に飛び込み一瞬早く競り勝ち、ボールは左のポストに当たりゴールした。今シーズンの初ゴールとしては、あまりに見事なシュートだった。去年まで現役だった余韻を感じさせた。1-1。

前半を1-1で折り返し、後半に入る。クラブチーム選手権は30分ハーフ

である。30分ハーフと40分ハーフではたった10分の差だが、選手にとっては試合の感覚がまるで違うようだ。30分ハーフは、本当に「あっ」という間に終わるのだ。次に得点した方が圧倒的に有利なことは、これまでの経験で身をもって知っている。

後半5分、相手GKと八重樫がゴール前で衝突して試合は一時中断した。雨の日はボールの予測が難しく、こういう場面が多い。幸い大きな怪我もなく再開した。

何度かのコーナーキックの後、後半14分ゴール前での混戦となった。何度もボールが行き来したが、これを制したのは後半から交代した小松だった。山崎のアシストも見逃せない。2-1。

いい時間帯に勝ち越したので、これで「勝てるかも！」とベンチは思った。しかし、いつもなら早く過ぎていく時間がこういう時に限って遅々として進まない。加えて、選手たちの疲労も目に見えるほどはっきりしてきた。

後半18分、相手のスタミナとパワーは一向に衰えない。外からDFを崩し、中にクロスを入れて勝負する。相手が疲れている時、外からの攻撃は有効である。かつて、この方法で何度も得点してきたし、また得点されました。今回は相手に見事に決められて2-2。

同点に追いついた相手チームは意気上がり、これでもかこれでもかと攻めてきた。こちらも必死で防戦する。後半30分をまわり監督は「ノータイム！」と大声でメンバーに伝えた。しかし、31分を切ってもホイッスルは鳴らない。32分を超えても鳴らない。相手チームの怒涛の攻めが実を結び2-3と逆転を許してしまった。そして、ようやく終了のホイッスル。後半開始早々の中断時間を考慮しなかったためであった。「ノータイム」と言わされて3分もあるのでは選手達もたまつものではない、と反省した。

今日の試合は、2-3で負けたはしたが、試合内容は今年度初戦とは思えない内容だった。初顔合わせのメンバーではあったが、もう既に何試合もこなしているかのような感じであった。思った以上にパスも繋がり、得点を期待させる場面も何度もあった。DFも相手をよく見て、攻撃を遅らせ、抜かれてもそれを考慮してカバーに入り、独走の場面を作らせなかった。中盤もよく動いて相手の攻撃を未然に潰していた。足場が悪くなかったら、もっといい形が作れたであろうと期待できた。3ヶ月外出自粛の間もトレーニングしていたであろうことは想像に難くない。今年度これから試合数は、例年の半分の7試合の予定であるが、いつ何時コロナで中止になるかわからない。試合ができることに感謝して臨みたいものである。【鈴木修平.記】

## ■2020年8月23日（日曜日） 県リーグ2部 第1節 対登米SC戦

試合開始 9:30 (40分ハーフ) 場所：登米東和運動公園

【結果】 2-3で負け

**【得点者】** 小松卓(1点目), 山崎晶平(2点目)

**【アシスト】** なし(1点目)、小松卓(2点目)

**【スタメン】** GK : 梅田芳樹

DF : 長谷川昂輝、小松卓、千葉一樹、西岡祐紀

MF : 今野琢人、河村一朗、土肥功之介

FW : 山崎晶平、坂井響、豊田雄一朗

**【控え】** 外館篤、中谷翔

**【交代】** 豊田雄一朗→中谷翔(後半10分)、山崎晶平→外館篤(後半20分)

**【警告】** なし

**【ベンチ】** 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、小川修一、吉川栄賢

**【副審】** 外館篤(12:00~)

**【評】**

前試合の7/12はクラブチーム選手権で今年の開幕戦だったが、今日は県リーグの本当の開幕戦である。この猛暑・炎天下の「開幕戦」はこれから歴史の中でどういう位置づけになるであろうか?

対戦相手は、今年昇格を果たした「登米SC」、場所は「登米東和運動公園」だ。キックオフが9:30のため、集合時刻は8:00であった。仙台市内から約1時間半かかるので、6:30には出発する必要があった。昨年4月、一度来ているのですぐわかるだろうと高をくくっていたら、最後の北上川の大橋を渡った最後の交差点で、昨年と違う光景に戸惑い道を過ち20分ほど右往左往する羽目になり、会場に着いたのは8時を少し回った頃になってしまった。

「昨年は無かった道路ができるようだ」と秋保さんに聞き「さもありなん」と納得した次第である。会場には8:00集合にもかかわらず既にほとんどのメンバーが到着していた。自分が最後だったようだ。

9:30、時間通りキックオフ。ここ1週間クラクラするような灼熱の太陽は雲のため無かったが、温度計は30度を超しており、蒸し暑いことに変わりはないかった。

今日のメンバーは13名であったが、今期初の試合の選手も何人かおり、体力が持つかどうかが一番の心配事であった。

試合は、お互い様子見もあり最初から激しいプレーは見られなかった。お互いパスをつなぎ、効率的な攻めで得点する機会をうかがうような試合展開となつた。

5分、DF千葉が快足を飛ばして相手陣内まで切り込みゴールを脅かす。

7分、山崎がMF河村と中盤でパスを回した後、軽快なフットワークとスピードで相手を翻弄し、ラストパスを中央にいた坂井へ、しかし坂井のシュートはゴールを捉えることができなかつた。

8分、坂井にまた得点のチャンスが来る。しかし、うまくいかない時はボールにも嫌われるものの、シュートしたボールはゴールを捉えたがバーに当たつ

てはじかれる。

中盤の主導権を握ろうと両チームは一進一退を繰り返しながら、給水タイムとなる。

24分、相手のアーリーコロスからDFの後ろに落とす攻撃の一つが実り、GKと1対1になるかと思われた。その時、GK梅田のファインプレーが相手の得点を無にした。スライディングでボールをはじき出し、事なきを得たのだ。後で、この時足を痛めたことがわかる。

相手チームの攻撃は中盤でボールを回し、左右からFWにアーリーコロスのパスをDFの後ろに落とし、一気に勝負してゴールを狙うという戦法であった。そのためか、何度もオフサイドを取られていたようだ。こちらのDFはスピードで相手に劣るとは思えなかつたので、カウンターの一発だけを警戒していた。加えて、この暑さなので連携しないと一人では体力が持たないであろうことを心配した。前半は0-0で折り返す。

後半8分、坂井に惜しいチャンスがあった。

そして9分、ゴール前で何度かシュートするも決まらず、ボールはペナルティーエリアの外へ流れようとした。それを左足で強蹴したプレーヤーがいた。低く速い弾道のボールはゴールネットを揺さぶった。「ウおー！」と歓声が上がった。小松だった。1-0。

これで流れは一気に東北クラブに傾いた。その後、立て続けにチャンスが巡ってくる。

後半11分、小松がMFから縦のスルーパスをもらう。相手のチャージを受けながらもブロックしながらドリブルで切れ込み、GKが出てきたところをシュート・・・ボールはセービングしたGKの脇の下を抜けゴールへ・・・コースを予測していたであろう山崎が詰める。2-0。

この後も優勢に試合を運んだように見えたが、28分1点を返され、30分、37分と追加点を許し2-3で終了した。

後半、相手は元気な体力絶倫のDFをFWに上げてきた。それが後半の相手の3点につながった。2点を取り、疲れが顕著に見えるようになった東北クラブに対し、相手はまだまだ体力的に余裕があつたように見えた。疲れた時の鉄則は、「外に開いて、中を開け、そこに入れて勝負！」である。我々は、それを知っていても今日は体力がついていかなかつたが、今後機会があつたら是非体感してほしい。

例年、この暑い夏場までには数試合をこなして、ようやく連係プレーができる光明が感じられる頃である。しかし、今年はまだ2試合目であり、それは無理というもの。だが、それを早める方法はある。自分がやってほしいことを声に出して伝えることである。顔を合わせて1~2試合なので、お互いどういうプレーをするのか、してほしいのかわからないのは当然である。3プレー先まで意思疎通出来たら最高である。是非、声を出して意思を伝えてほ

しい。遠慮は「不要！」である。そんな中、2得点は特筆に値する。  
【鈴木修平.記】

■2020年9月6日（日曜日） 県リーグ2部 第2節 対田尻FC戦

試合開始 12:00 (40分ハーフ) 場所：松島フットボールセンター1

【結果】 1-2で負け

【得点者】 八重樫英一郎(1点目)

【アシスト】 西岡祐紀(1点目)

【スタメン】 GK：小西賢

D F：今野琢人、豊田雄一朗、西岡祐紀、山崎大河

M F：河村一朗、土肥功之介、中川祐輔

F W：山㟢晶平、八重樫英一郎、小松卓

【控え】 坂井響

【交代】 山㟢晶平→坂井響(後半10分)

【警告】 坂井響

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、小川修一

【副審】 小川修一(10:00～)

【評】

「松島」という地域の特質によるものか、それとも桁外れの大型台風10号の影響だったか？

9時半頃、霧雨の様な雨が降り始った。だんだん強くなって、濡れてくる。しかし、雨の粒が小さいためかずぶ濡れにはならない。雨が止むと今度は太陽が顔を出す。だんだん蒸し風呂の様な状態になってくる。それが試合までに2～3度あった。自分の怪しい記憶によれば、過去にもこの松島フットボールセンターで同じような気象現象が一度ならずあり、他のサッカー会場では経験がない。

試合開始前には太陽が陰り、そのまま続いてくれる事を祈ったがいつもの様に裏切られた。

試合開始は12:00、場所は松島フットボールセンター1、相手は田尻FC。今季2度目の対戦である。

コロナへの対策の一環で、挨拶無し、選手・審判の握手無し、円陣・掛け声禁止で始まる。致し方ないとは言え、一抹の寂しさを禁じ得ない。ゴールしてもハイタッチ禁止、ハグ禁止。倒れた選手への手助け無し・・選手達も感情を素直に表現できずにストレスが溜まるのではないかと気がかりではある。

相手は、7月にクラブチーム選手権で対戦しており、攻撃・得点のパターンは大体体が覚えていると思われた。スピードある縦の攻撃に注意すれば、そう得点にはならないであろうというのがベンチ・選手達の一致した思いだった(と思う)。

3分、相手のシュートがバーを叩く場面があり、一瞬ヒヤッとした。

5分、山嵩が相手陣内にドリブルで切り込み、中に詰めてきた土肥に合わせるがゴールには至らず。

10分にはコーナーキックを得て、いいボールが飛んだがGKに阻まれる。

11分にはフリーキックを得るもゴールをこじ開けることはできなかった。

東北クラブに流れが来ているように見えたが、もう一步というところで得点には至らない。

ここまで相手にもチャンスはあったが同じ様に得点にはならなかった。しかし、CK、FKと2度のチャンスの直後の12分、相手は早い縦パスをつないであれよあれよという間に自陣に攻め込んできた。中から外へ一度開き、中の空きスペースができる所へラストパス。相手FWの倒れこんでの低く速いシュートはGK小西の反応を無にしてゴール左隅に入っていた。流れがこちらに来ていただけに惜しい失点であった。0-1。

しかし、まだまだ時間はあり、体力も十分なので焦る必要はなかった。それが15分に実った。DFの西岡が左でボールをキープしながら上がる。センターライン付近にいた河村がDFを引き付けてボールを受ける。西岡はDFの裏が開いたとみるやオーバーラップして上がる。河村の絶妙のスルーパスを受けた西岡はゴール前にアーリークロスのセンタリングを上げる。快速を飛ばして飛び込んできたのは八重樫、GKとクロスするかと思われたが八重樫は倒れ込んで先にタッチ、ボールはゴールネットに突き刺さっていた。この態勢でのシュートはボールが流れるのが普通だが、ボールは八重樫のコントロール下にあった。西岡の絶妙のラストパスと八重樫のスピードが光るゴールだった。1-1。

このゴールの後、相手のプレーヤーはキックオフ直後のボールをゴール目がけて強蹴した。まさか「入る」とは誰も思っていなかった。それが、ゴールのバーの下を叩き、ワンバウンドして入ってしまった。「・・・」こんなこともあるんだとしばし無言のベンチであった。1-2。

35分、土肥と小松で相手右ペナルティーエリアまでドリブルで切り込む。4人ほど抜いたであろうか、しかし最後はスピードが落ち、シュートまで行けなかつた。

37分、山嵩が相手ペナルティーエリアで相手DFに競り勝ち、ボールを奪取。ゴールライン上から倒れながらもボールをゴール前に折り返した。ボールは無人のゴール前を、しかもゴールライン上を横切って行く。ボールはポストに当たり・・・外へ出て行った。山嵩がいたら詰めていたかも知れないが、一人二役はできない相談である。これまで、折角外からえぐって中に折り返しても誰もいない・・という場面は多々あった。昔から「チャンスは必ずある」と言っているが、こういう場面を逃したらチャンスは巡ってこないだろう。外からの攻撃には、中でニア（近く）に一人、ファー（遠く）に一人

必ず詰めてほしいものである。必ず報われる場面が来るはずである。

前半を 1 - 2 で折り返し、後半に入る。

後半8分、山㟢に代わって坂井が入る。その坂井は、後半16分小松との連携でチャンスを作るがゴールにはならなかつた。

後半18分、左からの攻撃でチャンスが続いたが得点にはならなかつた。

後半は 0 - 0 でタイムアップした。

今日の試合、1 - 2 で負けたが 2 点目は目をつぶっても良いと思う。どんな試合でも、防ぎ切れない失点はあるもので、2 点は覚悟しなければならないと思っている。だからこそ 3 点以上の得点が欲しい。どんなチームにも得点のチャンスはあるものである。しかし、それを入れるか入れないかはプレーヤーのイマジネーション（創造力）やインスピレーション（ひらめき）に大きく左右される。「ボールは丸い」と言ったのは誰だったか忘れたが、「ここに来るかも知れない」と聞いた場所にボールが来た時の感激は格別である。

セオリーと意外性のある動きに期待したい。【鈴木修平.記】

p.s 中川祐輔君が新規加入・初出場です。

## ■2020年9月20日（日曜日） 県リーグ2部 第3節 対 S C 7 5 戦

試合開始 13:00 (40分ハーフ) 場所：登米東和運動公園

【結果】 1-6で負け

【得点者】 中谷翔(1点目)

【アシスト】 千葉一樹(1点目)

【スタメン】 G K : 小西賢⑯

D F : 今野琢人②、中谷翔③、千葉一樹④、豊田雄一朗⑧

M F : 八重樫英一郎⑤、小松卓⑥、外館篤⑦

F W : 坂井響⑨

【控え】 なし

【交代】 なし

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、小川修一

【副審】 外館篤(9:00~)

【評】

今日は県リーグ2部の第3節、相手は S C 7 5 、試合会場は「登米東和運動公園」である。

登米までの三陸自動車道の朝は、いつもより混んでいた。

集合時間は11時半だったが、時間になつてもメンバーが集まらず、どうしたのかと思っていた。

その時、吉田和朝さんから電話があった。話では、どうも三陸自動車道が尋

常じゃない混雑のようである。車も多いが、100人以上のバイクの集団が道を塞いで動かないらしい。試合開始までは着くんだろうということで一安心した。

他のメンバーもその影響か軒並み遅れたが、試合開始には十分間に合った。しかし、今日のメンバーは昨日の時点で8人という事で、どうしようかと思っていた。今日は来れるかどうかわからなかつた小西が来れるようになり、試合に間に合つたのが救いだった。

相手はS C 75、県リーグに昇格する前の仙台リーグ(9年前)で対戦していた相手である。相手の監督と話をしたところ、その時のメンバーは殆ど居なくて世代交代しているとのことであった。我々としては、相手が県リーグに慣れるまでに是非勝つておきたい相手であった。しかし、9人では・・・。

13:00キックオフ。天気は曇り、時々太陽が顔を見せるが真夏の暑さではないのが幸いであった。

かつて、9人で臨んだ試合を思い返していた。2017年7月9日、天皇杯予選で東北福祉大学の現役と松島FBC1での試合がそうだった。当然、勝つことは有り得ない。では、何を心の支えとして戦うか?監督としては、「失点を少なくするのではなく、1点でも得点しようすること」を伝えた。どうやっても負ける事がわかっている場面でも「どういう負け方をするか」は今後の人生でも少しばかりに立つ事があるのではないかと思う。

相手の人数が少ないとときは、数的優位の場面を作つて攻撃し、疲れが見えたところで勝負するのが定石である。外に開いてDFをおびき出し、中が開いたところに入れて勝負する。しかし、これは意外と得点にならないものである。過去、人数が少ない試合を何度も経験して得た実戦での感覚である。なので、そういう攻めをしてくれると思わず笑みがこぼれてしまう。

しかし、相手は知つてか知らずか果敢に競つて得点しにきた。13分、21分とそれが実る。人数が多い上に流れに乗られると手がつけられなくなると危ぶんだが、DF・MFがよくカバーして凌いだ。さらに、前が空いたと見るや相手2~3人をドリブルで抜いてゴールに迫る場面が何度もあった。

そして34分、今日のハイライトが訪れる。相手が中盤から攻撃を仕掛け、中に走り込んだFWにローリングボールを上げる。相手FWにうまく合つたが、深く下がっていた小松に取られる。小松はタッチラインに蹴り出す。DF千葉がそのボールを猛追し攻撃につなげる。そのままスピード・ドリブルで相手を翻弄しながら上がる。それを見た坂井は左外へ走る。真ん中を外館が割つて走る。中央右を中谷が全速力で上がる。当然、各々DFがマークしている。千葉は誰に出すか一瞬で判断し、左足で右を走る中谷に、相手DFの頭越しに速いボールを出した。相手チームのベンチから「オフサイド!」という声が上がった。ベンチの方からは、後ろからの角度なのでよくわからなかつたし、オフサイドなら主審の笛が鳴るのだろうと思った。しかし、笛は鳴らな

い。ボールは中谷に渡り、次の瞬間にはGKと対峙していた。中谷は落ち着いて右隅に決めた。ベンチから大歓声が上がったことは言うまでもない。（後でビデオを見ると、千葉の出したボールに相手がヘディングして触っていた。）

後半、中谷は空中戦でボールを競った時、相手とバッティングし顔面を強打した。しばらく二人とも立ち上がりがれなかった。幸い、プレーを続ける事ができたが何も無いことを願う次第である。

最終的に1-6で負けはしたが、「1点」を入れたことは大きい。今後の大きな財産になるだろう。皆、疲れも半端ではなかったと察するが、ちょっと高揚した気分で帰宅の途につけたのではないだろうか。【鈴木修平.記】

## ■2020年10月4日（日曜日）県リーグ2部 第4節 対マリソル松島戦

試合開始 14:30 (40分ハーフ) 場所：松島フットボールセンター1

【結果】0-1で負け

【得点者】なし

【アシスト】なし

【スタメン】GK：残間諒⑯

D F：長谷川昂輝②、土肥功之介③、千葉一樹④、豊田雄一朗⑤

M F：今野琢人⑥、中川祐輔⑦、河村一朗⑧

F W：坂井響⑨、山崎晶平⑩、中谷翔⑪

【控え】八重樫英一郎⑫、外館篤⑬

【交代】山崎晶平⑩→八重樫英一郎⑫(後半5分)、  
中谷翔⑪→外館篤⑬(後半15分)

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、山本貴弘

【副審】残間諒(12:30~)

【評】

10月となり、いたるところでキンモクセイの香りが漂うよう季節になってきた。コロナで例年より3ヶ月ほど遅く開幕した県リーグは3試合を終え、残り4試合となった。

今日の対戦相手は「マリソル松島」、場所は「松島フットボールセンター1」である。集合時間は13:00。事前の連絡では10名ということだったが、最終的に13名が集まってくれた。マリソル松島とのこれまでの対戦を振り返ると、昨年初めて勝つことができたが、それまでは勝ったことがなかった相手である。11名でも大変な相手に10名では・・と思っていたが、まずは安堵した。

14:30キックオフ。立ち上がりの最初の5分は重要である。選手達も同じ思いでここは乗り切った。普通、最初はお互い様子見で流れも緩やかなのが、マリソル松島は違う。いつも最初からトップスピードでプレーし、当た



2020年10月4日 松島フットボールセンターで

りも激しく、一瞬も気を抜けない。

前半12分、相手陣内右でD F同士のボール回しを山崎がカットし、それがスローインとなり、コーナーキックまでつながる。キッカーは中川、いいコースに飛んだが少し距離が足りなかった。しかし「チャンスの後にピンチあり」、相手D Fがクリアしたボールは、前線のFWにピタリと合いカウンター攻撃となってしまった。前には誰も居ない。G Kとの間合いを見極め、強烈なシュートがゴール左下隅に飛ぶ。「入ったか?」と思われたが、G K 残間のファイン・セービングに救われた。

前半17分、相手D Fがペナルティーエリア付近からクリアした。ボールはセンターサークル付近にいた今野の前に、今野はこれをダイレクトで前にいたFW坂井にパスした。D Fを背にした坂井は、このボールに軽くタッチしてコースを変え、振り向き様にD Fを一気に抜き去ろうとした(と思う)。一瞬でG Kと1対1になる筈だった・・が、ボールは思った通りにはならずゴールラインに流れていった。インスピレーションとしては良かっただけに、次回も是非見たいものである。

チャンスは続く。その直後、相手G Kのキックしたボールを中谷が胸でトラップ、右サイドへ走った坂井へ出したがボールは相手にヘディングされる。しかし再びボールを奪取した中谷は、今度は真ん中を突破する山崎を感じたか、D Fの裏に絶妙のロビングボールを落とした。相手G Kは当然出て来る。

中谷からのボールをワンタッチでコントロール下に置いていた山崎は、ボールを浮かせた。GKの頭を越すループシュートをイメージしていたであろう。山崎ならではのゴールになる筈であった。しかし、GKとの間合いかが近すぎた。ボールは、ゴールではなくジャンプしたGKの手に収まった。

前半22分、味方陣内左でDF千葉が相手とボールを競り合う。相手が運び倒した。反則になるようなプレーでは無かったが、副審のフラッグが上がった。当然、主審の笛が鳴ると思いつつ「鳴らない」。千葉はこの一瞬の隙を見逃さない。ドリブルで猛ダッシュ、左へ開いた山崎へパス、山崎は絶妙のクロスとタイミングで再び千葉へ戻す、千葉は中央を上がって来た土肥につなぐ、土肥は右へ開いた中谷へ、中谷はDF長谷川に戻し、最後は長谷川がゴール前に勝負のクロスを出す。山崎が追ったがシュートには至らなかった。しかし、見事なパス・ワークであった。

前半は押されながらも0-0で折り返す。DF長谷川・土肥・千葉・豊田の好守が光った。

後半も手に汗握る試合が続く。

前半頑張り過ぎて足を痛めた山崎が後半開始早々、八重樫と交代する。

後半3分、DFのクリア1発がFW坂井につながりカウンター攻撃となるもシュートまで行かず。

後半9分、八重樫がゴール前でシュート・チャンスとなるもゴールならず。

後半11分、左から切り込みシュートまで行くがゴールには至らず。

後半14分、外館を投入して疲れの見える攻撃に元気を注入しようとした。

後半31分、左から快速を飛ばして切り込んできた千葉がドリブルでゴール前に迫る。俊足の千葉に相手DFはシュートはさせまいと捨身のスライディング・タックルをかます。千葉は軽く切り返したように見えたが、千葉の切り返しは切れ味鋭く、相手DFはゴールラインのはるか外に滑り出していた。完全に抜き去った千葉は、見定めて中のFWへボールを折り返すも相手DF陣の壁に阻まれてゴールならず。

後半37分、ペナルティー・エリア中央付近で後方からのロング・パスを坂井がDFを背にヘディングで外館の前に落とす。外館はこれをダイレクトでミドル・シュート。ゴールの枠を捕らえたがGKにキャッチされる。いいコンビネーション・プレーだった。

チャンスは作れるが如何せん攻撃に厚みが足りなかつた。1点が取れなかつた。さらに、前半の疲れが徐々に効いて相手のスピードについていけない場面が多くなっていく。終了前5分には、カウンター攻撃であつという間に相手FWがペナルティー・エリアまで到達しGK残間と1対1になってしまった。皆、失点を覚悟した。相手はGKの動きをよく見てシュートした。しかし、残間はその上を行った。ゴールは幻になつた。これまで何度かこういう場面に遭遇しているが、経験と謙虚のなせる技であろう。

試合終了のホイッスルが鳴り、0-1で終了した。

今日の試合は、開幕から数えて5試合目になるが、これまでの中で最も締まりのある良い試合だった。これまでの試合では、ここまでパスが通ることは滅多に無かったことを考えれば大きな進歩である。しかし、80分を通じて見ると相手が1枚も2枚も上手であったことは間違いない。我々も80分間、こういう連携プレーができるようになりたいものである。【鈴木修平.記】

## ■2020年10月25日（日曜日）県リーグ2部 第5節 中新田サッカークラブ戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所：みやぎ生協めぐみ野サッカー場C

【結果】 1-0で勝ち

【得点者】 今野琢人

【アシスト】 坂井響

【スタメン】 GK：梅田芳樹①

D F：長谷川昂輝②、土肥功之介③、千葉一樹④、豊田雄一朗⑤

M F：今野琢人⑥、中川祐輔⑦、中谷翔⑧、八重樫英一郎⑨

F W：坂井響⑩、山崎晶平⑪

【控え】 小山海斗⑫、外館篤⑯

【交代】 中川祐輔⑦→小山海斗⑫(前半18分)、

山崎晶平⑪→外館篤⑯(後半15分)

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【副審】 小川修一(9:00~)

【運営当番】 吉川栄賢、小川修一、秋保盛樹、吉田和朝、鈴木修平

【評】

コロナ感染者が世界でも日本でも増えている昨今だが、10月初旬県リーグでもチーム関係者が濃厚接触者との認知により試合の一部が延期となり、そのため今日の試合開始時間が1週間前に変更になり、3時間早くなつた。大事な連絡なので、メールに「開封通知要求」を付けてみたが、1通も開封通知が来なかつた。しかし、集合時間には全員集まつていた。「開封通知要求」など必要無いようだつた。(その後、チーム関係者は検査で陰性と判明したと聞いた)

11:00キックオフ。今日の対戦相手は中新田サッカークラブ、場所は久々のみやぎ生協めぐみ野サッカー場C(利府県Cグラウンド)だ。朝方は10°Cくらいまで冷え込んだが雲ひとつ無い快晴となつた。相手チームの試合を今年2度ほど見る機会があつたが、昨年一部にいただけあって試合運びは上手く、当たりも強くスピードもある。前節のマリソル松島と似たチームと認識していた。今日のメンバーは13名、前回とほぼ同じメンバーである。

開始4分、相手の縦パスを八重樫がジャンプ・ヘディングで止める。そのボールを山嵩がキープし今野に渡す。今野は左を走って来た中川にパスを出す。中にいた坂井が手をあげてニアポストに走る。相手D Fは当然追いかける。そこに空きスペースができた。走り込んだのは八重樺、中川のセンタリングは八重樺にピタリと合った。八重樺は右足でジャンプ・ボレーを放つ。入ってもおかしく無いシュートだったが相手G Kのファインプレーに阻まれる。

7分、M F今野が相手のクリアボールをヘディングでカット。ボールは左へ大きく飛んでオーバーラップして来た千葉に合った。予想を超えたパスは千葉をフリーにした。コーナー付近から狙いすましたセンタリングは中谷にピタリと合った。しかし相手D Fがシュートを必死に防いだ。

10分、相手D Fの縦パスを中川が鋭い反応でインターチェプトし、一気に相手陣内へカウンター攻撃を仕掛ける。坂井が前に走りパスを受ける。坂井はドリブルで相手D Fと勝負しシュートした。しかし、ゴールエリア深くまで入りすぎたせいか角度が無くサイドネットに。

D F長谷川、豊田、土肥、千葉は空中戦でもドリブル攻勢でも相手に決定的なチャンスを作らせなかった。試合前の自分の予想とは違う「良い」展開に今日の結果に期待が膨らんだ。しかし、前半18分今日何度も相手のパスをインターチェプトしていたM F中川が、ゴール前で足がつり続行不可となつた。代わりに今日久々登場の小山が入る。オールラウンド・プレーヤーの小山が今日いたことはラッキーであった。

20分には中谷→坂井と繋いで山嵩がシュート。

33分には小山のスローインから土肥が左をドリブル突破し、土肥→小山→八重樺→小山→八重樺と相手D Fを翻弄してつなぎ、最後は八重樺が強烈なシュートを放ったがポストをわずかに外れた。

攻勢は続いたが0-0で前半を折り返す。

後半3分、センターライン右後方付近で相手F KをD Fがヘディングで競り勝ち、ボールは坂井へ。坂井は一度ボールを外へパスし、前へダッシュする。ボールは山嵩が中継して再び坂井へ。フリーになった坂井は快速を飛ばしてゴール前に迫る。中へ折り返したボールは一度相手D Fにクリアされるも再び山嵩のコントロール下に戻る。山嵩は左に上がって来た八重樺にキラー・パス。八重樺は迷いなくダイレクトにシュートした。低弾道の強烈なシュートは相手G Kのセービングを無にしていた。「入った！」と誰もが思った。次の瞬間「カン！」と乾いた音がしてボールはゴール前を横切って消えていった。

後半7分、坂井の強烈な右からのシュートはG Kのファインプレーに阻まれる。

後半14分、左からの小山のC KをGKがパンチングではじく。そのボールを八重樺が相手と競る。体が重なったと思った次の瞬間、八重樺は一瞬で相手

を後ろに置き去りにしていた。狙いすまして中へセンタリング。先に跳んだ方ではなく後ろにいた豊田が倒れ込みながらヘディングでシュートした。ボールはワン・バウンドしてゴールに飛んだ。そのボールに外館が突っ込み、頭で押し込んだ。何の問題も無いゴールに見えたが、突然主審の笛が鳴り「幻のゴール」となった。何のファールかわからずベンチからもブーイングの嵐が吹き荒れた。

中盤を圧倒的に支配して試合を進めているにもかかわらず点を取れない。取れるときに取っておかないと後で泣きを見る。過去に何度も経験していることだ。ベンチに(運営当番のため監督とコーチ2人しかいなかつたが)嫌なムードが漂った。

後半16分、左サイド中盤で小山がボールを奪い、攻撃に転じた際になぜか皆のプレーが止まつた一瞬があった。一人外館がボールを追つた。ボールは相手ペナルティ・エリアの外にあった。相手GKは慌てたのかボールをタップラインに蹴り出してしまい、我々にスローインを与えてしまつた。小山がスローインし千葉が受ける。中で坂井が手を上げる。利き足は左だが、スイッチ・キッカーの千葉は右足で中へ蹴り込む。弧を描いたロービングパスはピタリと酒井に合つた。後ろにDFを背負つた坂井はボールのスピードを殺して前に落とした。転がつたボールに走り込んだのは今野だった。ペナルティーエリアの外だったが迷わず足を振り抜いた。シュート・ボールはゴール左下



2020年10月25日 利府.みやぎ生協めぐみ野サッカーフィールドCで

隅に突き刺さった。GKは当然セービングしていたが、触ることは叶わなかつた。昨年9/1のマリソル松島戦を彷彿とさせる得点だった。この得点で嫌なムードは一新された。

相手も何度かゴール前まで攻めてチャンスを作った。得点につながるような危ない場面もあったが、GK梅田は絶妙なポジショニングと軽快な身のこなしで相手FWを翻弄していた。

今日の試合は、DFの気迫と運動量が相手の攻撃力を削いだように見えた。FW・MFもよく動いて守備をしたことが相手のパスの正確性を鈍らせ、インターセプトに繋がったと言える。試合を重ねるごとに試合内容が良くなつて来ているのは喜ばしいことである。しかし、もっと得点が入っても良い試合だった。どんな試合でも2失点は覚悟する必要がある。だから、得点のチャンスは逃さないようにして3得点は欲しいところである。【鈴木修平.記】

p.s 今日は試合時間変更で運営当番が自チームの試合と被り、スタッフが足りない場面でしたが、吉川さんと小川さんのおかげで事なきを得ました。ありがとうございます。

## ■2020年11月8日（日曜日）県リーグ2部 第6節 KEMONO in 楠木戦

試合開始 10:00 (40分ハーフ) 場所：アディダススポーツ・パーク

【結果】0-2で負け

【得点者】なし

【アシスト】なし

【スタメン】GK：小西賢⑯

DF：長谷川昂輝②、河村一朗⑧、豊田雄一朗⑤、小松卓⑨

MF：今野琢人⑥、八重樫英一郎⑦、土肥功之介③

FW：千葉一樹④、山崎晶平⑩

【控え】なし

【交代】なし

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【副審】小川修一(14:00～)

【評】

11月に入り、めっきり寒くなってきた。今年はコロナの影響で試合数は7、例年であれば15試合目くらいなので約半分であるが、試合が続けられていることは幸いである。

集合時間は8:30で早かったが、アディダススポーツ・パークにはほとんど集合していた。今日の相手は、KEMONO in 楠木。過去何度か対戦しているが、強豪チームである。その時のメンバー次第で結果が大きく左右されてきたような気がする。

10:00、キックオフ。太陽が当たるところは暖かいが、陰の所は強風の影響もあり寒い。プレーヤーにとってはどうだったろうか。

前半2分、左サイドから山崎がドリブルで相手をかわしながら上がる。ペナルティーエリアの手前で相手の逆をとった瞬間、ゴールまでのコースが空いたと見たか右足を振り抜いた。ボールはゴールへ一直線、「入ったか？」と思ったが、GKの指先をかすめバーに当たり外へ出て行った。

4分、中盤右サイドで相手のゴールキックを今野がとった。そして、今野→八重樫→土肥→八重樫→再び今野→土肥とダイレクト・パスがつながりゴールまで肉迫する。ゴールには至らなかったが、見事なパスワークに自陣ベンチでも「上手い！」という声が自然に漏れた。

その直後、突然主審の笛が鳴り何事かと思えば、我々の練習ボールが数個、風に煽られてフィールドに転がっていました。吉田コーチと慌てて拾いに行つた。

10分、相手左ペナルティーエリア付近での攻め。小松→千葉→八重樫→今野→長谷川→八重樫とつながりシュートまで行くもゴールにはならず。

その直後C Kから再びチャンスを作り、左からセンタリングが上がる。今野がシュートしたが惜しくもGKの手中に。

13分、今野からボールを受けた千葉はドリブルで相手DFを突破し、中の八重樫にラストパス。八重樫のシュートはわずかに左へそれる。

19分、自陣左のコーナーキック・フラッグ辺りからのスローインがあった。どういう意図があったかわからないが、ペナルティーエリア内にボールが入って来た。ボールを奪いに来た相手FWとDFがもつれ、押し倒した格好になりPKを取られる。0-1。今後、改善できるポイントであろう。

その後も攻勢が続く。24分、中盤右から少し相手陣内に入ったところで今野が相手のファールでFKを得る。キッカーは土肥、ライナーのボールは小松に照準が合っていた。ゴールを背にした小松がどう処理したか良く見えなかつたが、ボールはコースを変えてゴール左隅に飛んでいった。入ってもおかしくなかつた。しかし、入らなかつた。相手GKのファインプレーだった。

27分、DF豊田は奪ったボールを中ヘロビングで入れた。山崎が蹴るが次のボールを相手にヘディングでクリアされるも、追いかけて再度自分のボールにする。一度長谷川に戻す。長谷川からボールを受けた土肥は「壁パス」のようなパスを山崎に戻す。ペナルティーエリア内でボールをもらった山崎はドルブルでDFを抜き、ゴール・ライン上から中へ折り返す。絶好の1点の場面だった。しかし、急いで戻ったDFの足に当たってクリアされた。相手DFのファインプレーだった。その後のCKも相手GKの好判断のキャッチでチャンスは潰える。

31分、相手の攻勢で2点目を失う。0-2。

34分、土肥が左ペナルティーエリア外で倒されフリーキックを得る。キッ

カーは強シューターの八重樫。壁の間を狙った強烈なシュートは相手に当たり跳ね返る。それを再びシュート。弾丸ライナーはまた相手D Fに当たり無にされる。相手D Fはさぞ痛かっただろうとベンチで話題になつた。

0-2で前半を折り返し、後半に入る。6:4で攻めているように見えるその内に早く1点を返したかった。

後半に入った直後、センターライン・右で懸命に相手とボールを競った八重樫に異変が・・・どうも足がつたようだった。

後半3分、中盤から今野→土肥→千葉にわたり、千葉はドリブルで相手D F 3人を手玉に取り中へ切り込み、中ヘラスト・パス。ゴール前の混戦でボールがこぼれたところを今野が再び抜け出しドリブルでゴールラインギリギリまでD Fを引き付け、中の山崎へ折り返す。絶好の位置にいた山崎のシュートはゴール左隅に突き刺さるかに見えたが、G Kのファイン・セーブでC Kに逃げられる。いつもなら入ったであろうが、入らない日はこういうものか。

相手も何度も攻勢をかけて攻めてくるが、D Fは連携プレーで決定的なピンチは作らせなかつた。今日、D Fを担ってくれた河村は相手の意図を読み早め早めにボールのコースに入り、チャンスを潰していた。

後半6分、センターライン中央の豊田から、今野→小松→千葉と渡る。千葉はドリブルでゴール前まで突進し、中ヘセンタリングするもボールだけが横切つていった。

その直後、相手FWがカウンターで右から縦を突破しようとした。しかし、河村がそれをスピードで阻止。そこまで戻っていた千葉がそれを受け30mほどドリブルで駆け上がる。中へつなぎ、左から上がってきた土肥につなぐ。土肥は中にいた山崎につなぎ、山崎は右から上がってきた長谷川に渡す。長谷川は中で待ち構えていた土肥にセンタリングしたが、一寸合わなかつた。

後半13分、中盤で相手のドリブルを小松がカットし、今野へつなぐ。今野から土肥へと渡り、土肥は相手D Fの裏へ絶妙のコントロールで縦パスを出した！ 山崎を意図していたことは誰の目にも明らかだつたが・・・山崎の「オフサイド」も誰の目にも明らかだつた。

後半26分、中盤右で、長谷川から山崎へ、山崎は体は前にいくと見せかけて、ボールを後ろへ流す(相手D Fは山崎につられ、後ろに空き空間ができる)。意図が通じず一度はクリアされるも山崎はボールを再び奪い返し、八重樫へ。八重樫は中の千葉へ、千葉は体を変えてシュートしたが相手D Fが必死で出した足に当たりC Kになる。

後半28分、MF今野は相手とヘディングで競りあって着地した後、無理な態勢で足を延ばしたためか足を痛め、一時戦線離脱を余儀なくされる。

後半37分、ゴール前を右から左へ横切るパスに山崎は追いついた。更に左足でダイレクトにシュート。キーパーの逆を突き、右隅に飛んだが角度が浅かつたためG Kの手先に当たり入らず。G Kも逆をとられ無理なセービング

をしたためか、その後足を引き摺っていたようだった。

後半39分、左コーナー付近から(誰か不明)、中へ絶好のボールが出来る。ゴール前にはフリーの八重樫がいた。利き足は右だが、持ち替えている暇はない。すかさず放った左足のシュートは、不運にも相手D Fの肩に当たった。しかし、ボールは右に詰めてきた今野の横に転がる。今野は右足でボールを止め、なぜか体を入れ変えて左足で蹴った。コースは左隅で完璧だったが、いつもの威力は無く、G Kのセービングが間に合いC Kとなった。痛めた右足では踏ん張りがきかなかったのだろう。そしてタイムアップ。

0 – 2で負けたとは言え、今日は「10人」での試合だった。楳木さん相手に10人とは思えない内容で、互角以上の試合をしていたと思う。今日GKをやってくれた小西に「危ない！」と思う場面が殆ど無かったことからもそれが伺い知れよう。随所に、何回もいい連携プレーが見られた。11人揃っていたら勝てたかも知れない。残り1試合、今日のような試合内容で勝ちたいものである、11人で。 【鈴木修平.記】

## ■2020年11月22日（日曜日） 県リーグ2部 第7節 六郷クラブ戦

試合開始 12:00 (40分ハーフ) 場所：みやぎ生協めぐみ野サッカー場C

【結果】 1-3で負け

【得点者】 山崎晶平

【アシスト】 八重樫英一郎

【スタメン】 GK：梅田芳樹①

D F：長谷川昂輝②、河村一朗⑧、豊田雄一朗④、小西賢⑤

M F：今野隼人⑥、八重樫英一郎⑦、土肥功之介③

F W：菅野隼也⑨、山崎晶平⑩、坂井響⑪

【控え】 外館篤⑯

【交代】 菅野隼也⑨→外館篤⑯(後半17分)

【警告】 八重樫英一郎

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【副審】 吉田和朝(14:00～)

【評】

新型コロナウィルスで例年とは全く違った年となった2020年だったが、途中で中止になることなく何とか最終戦まで続けることができた。ただ、例年であれば15試合くらいを経て最終戦となるのだが、今年は半分の8試合であった。そのせいか、何か物足りないような感じがしたのは否めない。

冷たい雨にだけはならない様に願っていたが、願いかなって天気は快晴となつた。朝は少し冷え込んだが、お昼頃には日差しが少し暑いくらいになつた。場所は、利府のみやぎ生協めぐみ野サッカー場C、相手は「六郷クラブ」だ。

六郷クラブは昔から何度も対戦している老舗のチームである。2015年8月23日に3-1で勝って以来、勝星がない。相手の平均年齢も毎年上がってきているので、こちらにも少しばかりはあるのではないかと思っていたが、毎年補強して世代交代は上手くいっているようである。チームとしてのプレーは高いレベルを保っているが、ちょっと荒っぽいところがあるのでケガには要注意だ。

今日のメンバーは12人。今年卒業して県内に就職した菅野隼也君が残り1試合にもかかわらず入部してくれた。(紹介は豊田君)

12:00キックオフ。いきなり早いペースで始まった。

前半2分、相手陣内右でボールの争奪戦となる。相手のボールとなり得意のパスワークで抜け出そうとする。中盤左、相手MFはトラップし横へパスしようとした。その時、間髪を容れずボールのコースを読んでいた今野が体を入れてボールを奪う。今野はすぐに右外にパスを出した。まるで最初から決めていたように素早かった。そこにはフリーの山崎が待っていた。山崎は一気にゴールラインまでドリブルで駆け上がり中へセンタリングした。2人

ほど詰めていたが合わずG Kの手に収まった。開始早々、惜しい場面だった。

13分、左中盤でパスが繋がり、最後は土肥がドリブルでゴールライン付近からスピードを殺したセンタリングを上げる。絶好のボールがゴール前に入つて来たが、相手D Fのスピードが勝ってクリアされる。

その後6：4以上で相手がボールを支配していたように見えた。今日のD F陣は長谷川、豊田、河村、小西である。何度も攻め込まれるが、D Fは要所要所を体を張つて止め、容易に得点を許さなかった。G Kがいよいよ時は本職でないゴールキーパーをやってくれてきた小西は、今日は久々にフィールドで活躍していた。一方、攻めの方はボールを相手から奪い返すものの、パスが2～3回位しか続かずフィニッシュまでなかなか行けなかつた。ベンチから見ていると、相手は常に数的優位を作り、詰めが早く、それも複数でやつて来る。当たりも強い。これでは当然パスの精度も悪くなり相手に取られる確率も増すだろうと思われた。これが続くと、ついつい縦パス1本で勝負！というパターンが多くなり、体力的にも精神的にも疲労が増すことになるので心配していた。

それが当たったかどうかはわからないが、29分に失点し、前半終了間際の40分にも追加点を許し、0-2で折り返すことになる。

気持ちを新たに後半に臨む。

後半1分、山崎と土肥でゴールに迫る。

後半3分、坂井がシュートまで持ち込む。

後半8分、中盤から山崎が左へアーリーコロスのパスを出した。俊足の八重樫が追ったが1歩及ばなかつた。もし触れたらG Kと1対1になり得点できたかも知れない残念な場面だった。

後半15分、中盤から山崎がドリブルで切り込む。ペナルティーエリア中央の外辺りでスピードを落としDF3人をおびき寄せる。集まってきた所を見計らつて一気にスピードを上げる。一瞬で3人を背後に置き去りにした。G Kが出て来ていた。山崎はスピードに乗つてそれもかわしたが、ボールはペナルティーエリアの外まで行つてしまつた。ボールを中に戻すも好機は逸していった。

後半22分、久々に相手のC Kがあつた。左からのボールはゴール前をオーバーし右へ流れた。そのボールが再びゴール前に入つてくる。DFがクリアしてまた左ペナルティーエリア角の辺りに流れる。それを相手D Fが強蹴した。地を這うような弾丸シュートだった。G K梅田は本能的にセービングした。手に当たつてポストに当たつたか「ガン！」という大きな音がベンチまで聞こえた。ボールはシュートと同じようなスピードで、蹴つた本人の所に戻つていつた。大きな拍手が湧いた。

こちらが優勢だった時間帯に得点できない中、後半27分、相手に追加点を許し0-3と突き放される。

後半28分、DF長谷川が最前線まで上がって来る。豊田も上がって来る。しかし、ゴールの扉は開かない。

後半33分、山崎が坂井のG Kの頭上を越すセンタリングに良く追いついたが得点には結びつかない。

後半37分、38分と八重樫がシュートを放つもこちらに運はなかつた。

時計はすでに後半40分を回ってアディショナル・タイムに入っていた。終了のホイッスルがいつ鳴ってもおかしくない。今期はこれで幕引きかと皆思った。

ベンチの目の前で八重樫がボールを取った。八重樫は間髪を容れずペナルティーエリア手前にいた山崎に速いパスを出した。ボールには逆回転がかかっていた。山崎の前に減速してピタリと合った。山崎はG Kを見ながら、右中ペナルティー・キックマーク方向にドリブルした。G Kは前から、D Fは右から詰めて來た。山崎は左へ切り返した。G Kは完全に逆を取られた、が必死で右手を伸ばしたが空を切る。次の瞬間、山崎とボールは無人のゴールを目の前にしていた。山崎はゆっくりと蹴り込む。ゴールネットが揺れる。ベンチから「ウォー！」と大歓声が上がった。来季につながる大事な1点だった。1 - 3ではあったが、勝ったような気分になれた。

【鈴木修平.

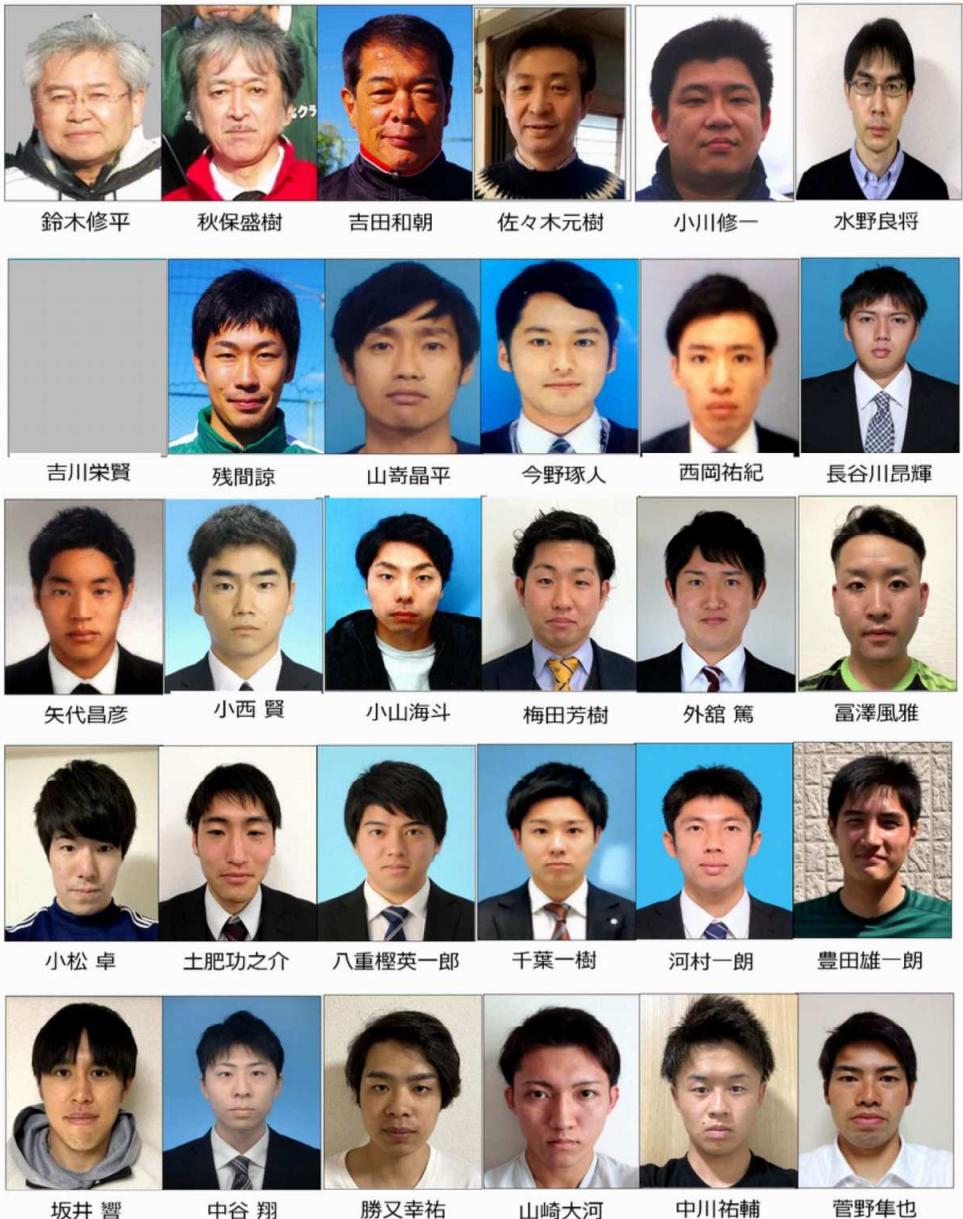
記】

# 第44回 宮城県サッカーリーグ2部個人成績表 得点ランキング

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	佐藤勇翔(登米)	5
2	高橋恵吾(SC75)	4
2	大沼将也(中新田)	4
4	後藤良太(松島)	3
4	高橋康太(登米)	3
4	古田翔哉(松島)	3
4	佐々木大輝(田尻)	3
4	佐藤恭哉(六郷)	3
4	太田善貴(楓木)	3
4	中俣徹(楓木)	3
11	大隅弦(楓木)	2
11	佐々木聖琉(中新田)	2
11	平川修次(六郷)	2
11	吉田大峰(中新田)	2
11	秋山浩孝(楓木)	2
11	上原匠(SC75)	2
11	山㟢晶平(東北)	2
11	遠藤未希斗(SC75)	2
11	加藤健治(六郷)	2
11	八向歩(中新田)	2
11	大沼飛翔(松島)	2
11	高橋周平(松島)	2
11	青沼正敏(田尻)	2
11	菅野紘太朗(楓木)	2
11	越後貴(登米)	2
26	佐藤凌太(SC75)	1
26	大宮飛翔(SC75)	1
26	青山彬(中新田)	1
26	鈴木隆斗(六郷)	1
26	今野琢人(東北)	1
26	最上歩(楓木)	1
26	八重樫英一郎(東北)	1
26	白鳥拓也(田尻)	1
26	上村拓磨(SC75)	1
26	鈴木拓海(登米)	1
26	麻野光弘(SC75)	1
26	高橋蓮(登米)	1
26	磯村順(SC75)	1
26	富田壯史(田尻)	1
26	石崎正樹(田尻)	1
26	及川竜二(田尻)	1
26	大箱将紹(中新田)	1
26	武川勝徳(中新田)	1
26	本郷裕人(松島)	1
26	木村忠靖(登米)	1
26	中谷翔(東北)	1
26	重田洋人(田尻)	1
26	平良木元(楓木)	1
26	小松卓(東北)	1
26	千葉翔(中新田)	1
26	菅崎唯人(松島)	1
26	庄山卓臣(SC75)	1

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	千葉和也(登米)	4
2	青山彬(中新田)	3
3	氏家拓海(中新田)	2
3	吉田大峰(中新田)	2
3	菅野紘太朗(楓木)	2
3	石垣秀斗(SC75)	2
3	加藤健治(六郷)	2
3	高橋康太(登米)	2
3	佐々木天大(登米)	2
10	及川竜二(田尻)	1
10	杉山浩平(SC75)	1
10	櫻井凌太(SC75)	1
10	村山良太(楓木)	1
10	佐藤勇翔(登米)	1
10	八重樫英一郎(東北)	1
10	八向歩(中新田)	1
10	高橋武巳(松島)	1
10	相澤光治(松島)	1
10	中俣徹(楓木)	1
10	後藤宏章(登米)	1
10	古田翔哉(松島)	1
10	曳地史宏(楓木)	1
10	富田壮史(田尻)	1
10	瀬ノ上益己(田尻)	1
10	千葉一樹(東北)	1
10	星川洋輝(SC75)	1
10	最上歩(楓木)	1
10	佐藤匠海(松島)	1
10	庄山卓臣(SC75)	1
10	丹野海人(松島)	1
10	鎌田健太(田尻)	1
10	上原匠(SC75)	1
10	相澤誠(六郷)	1
10	高橋蓮(登米)	1
10	菅原義豪(六郷)	1
10	坂井響(東北)	1
10	大友卓哉(六郷)	1
10	後藤良太(松島)	1
10	西岡祐樹(東北)	1
10	遠藤未希斗(SC75)	1
10	針生大作(六郷)	1
10	小松卓(東北)	1
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0
43	0	0

## 2020年メンバー



## 東北クラブ戦績一覧(2011.6~)

2020-12-12 17:01

No	年月日	相手	結果	場所
1	2011-06-12	南小泉リーグ	0-0 引分け	宮城広瀬G
2	2011-06-19	一高済美	1-1 引分け	中田中央G
3	2011-07-10	仙台FC	2-1 勝ち	中田中央G
4	2011-08-21	ACミラノ	0-0 引分け	宮城広瀬G
5	2011-09-18	FCDリーグ	1-2 負け	宮城広瀬G
6	2011-10-02	OCT愛子	0-2 負け	県リーカー場
1	2012-04-01	南小泉リーグ	1-3 負け	宮城広瀬G
2	2012-04-15	桑原FC	1-1 PK負	(社会人)県B
3	2012-05-13	東北大医学部	X流れ	(天皇杯)七ヶ浜G
4	2012-05-20	仙台FC	0-1 負け	(仙台リーグ)広瀬G
5	2012-05-27	東北大医学部	0-6 負け	(天皇杯)芸芸の里
6	2012-06-10	ACミラノ	2-2 引分け	(仙台リーグ)中田公園G
7	2012-06-24	FCDリーグ	4-1 勝ち	(仙台リーグ)中田中央公園G
8	2012-07-01	SC75	0-1 負け	(社会人リーグ)ム選手権)県G
9	2012-07-08	OCT愛子	1-2 負け	(仙台リーグ)広瀬G
10	2012-07-15	宮ケリーグ	2-3 負け	(仙台リーグ)利府県C
11	2012-08-12	SC75	5-0 勝ち	(仙台リーグ)
12	2012-09-02	一高済美	1-1 引分け	(仙台リーグ)色麻町愛宕山G
13	2012-09-23	FCDリーグ	2-1 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
1	2013-04-07	仙台FC	1-1 引分け	(仙台リーグ)広瀬G 大雨・強風・
2	2013-04-14	OCT愛子	2-0 勝ち	(全国リーグ)ム選手権)松島G
3	2013-04-29	東北大工大	4-1 勝ち	(天皇杯)泉東G
4	2013-05-05	七郷クラブ	2-2 PK6-5	(天皇杯)泉G
5	2013-05-19	宮城教員リーグ	1-3 負け	(社会人)仙台大G
6	2013-06-15	刈谷松島	0-4 負け	(天皇杯)松島FC
7	2013-06-16	ケイサックス	6-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
8	2013-06-23	リーグアソシエーション	1-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
9	2013-07-07	多賀城FC	3-0 勝ち	(全国リーグ)ム選手権)
10	2013-07-14	DUO PARK	1-2 負け	(全国リーグ)ム選手権)白石川IG
11	2013-08-04	ACミラノ	0-2 負け	(仙台リーグ)広瀬G
12	2013-08-18	OCT愛子	4-2 勝ち	(仙台リーグ)泉G
13	2013-09-08	仙台向山FC	6-1 勝ち	(仙台リーグ)中田中央G
14	2013-09-29	宮ケリーグ	1-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
15	2013-10-13	広瀬FC	5-1 勝ち	(仙台リーグ)中田公園G
16	2013-10-20	FCDソリル	2-1 勝ち	(仙台リーグ)中田公園G
17	2013-11-17	田尻FC	3-3 引分け	(昇格選考)利府県C
18	2013-11-24	BOA SORTEさくら	5-1 勝ち	(昇格選考)利府県C
19	2013-11-30	BOA SORTEさくら	1-0 勝ち	(昇格選考)利府県A
20	2013-12-01	IAIA登米FC	5-1 勝ち	(昇格選考)利府県A

## 東北クラブ戦績一覧(2011.6~)

2020-12-12 17:01

No	年月日	相手	結果	場所
1	2014-04-06	七郷クラブ	2-1 勝ち	(社会人)愛宕山公園G
2	2014-04-13	FC SENDAI	0-6 負け	(天皇杯)利府県C
3	2014-04-20	一高済美	5-1 勝ち	(県リーグ)
4	2014-05-11	多賀城FC	1-2 負け	(県リーグ)
5	2014-05-18	TOHOKU FC	2-2 PK.4-2	(社会人)
6	2014-05-25	登米SC	2-0 勝ち	(カブチーム)
7	2014-06-08	仙台さすけ FC	2-3 負け	(社会人)
8	2014-06-22	七郷クラブ	2-0 勝ち	(県リーグ)
9	2014-07-13	FCイズミ	3-2 勝ち	(県リーグ)
10	2014-07-20	中新田FC	1-2 負け	(カブチーム)
11	2014-08-17	多賀城FC	3-1 勝ち	(県リーグ)
12	2014-08-24	アルトーレ桑原	2-3 負け	(県リーグ)
13	2014-08-31	一高済美	3-4 負け	(県リーグ)
14	2014-09-07	七郷クラブ	3-5 負け	(県リーグ)
15	2014-10-19	FCイズミ	8-1 勝ち	(県リーグ)
16	2014-11-02	アルトーレ桑原	2-0 勝ち	(県リーグ)
17	2014-12-21	KEMONOin楳木	0-2 負け	(入替戦)
1	2015-04-12	多賀城FC	3-0 勝ち	(県リーグ)
2	2015-04-19	塩釜NTSC	5-0 勝ち	(社会人)愛宕山公園G
3	2015-05-03	中新田SC	1-1 PK4-3	(天皇杯)松島リトル・リトル
4	2015-05-24	仙台大学FC	1-2 負け	(社会人)県A
5	2015-05-31	BOA SORTEさくら	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜
6	2015-07-26	一高済美	1-2 負け	(県リーグ)アーヴィング
7	2015-08-09	一高済美	4-1 勝ち	(カブチーム)県B
8	2015-08-16	エーサッカーケン	0-3 負け	(カブチーム)県B
9	2015-08-23	六郷リーグ	3-1 勝ち	(県リーグ)松島総合G
10	2015-09-06	桑原FC	3-0 勝ち	(県リーグ)アーヴィング
11	2015-09-27	BOA SORTEさくら	3-3 引分け	(県リーグ)松島リトル・リトル
12	2015-10-18	一高済美	4-1 勝ち	(県リーグ)県C
13	2015-11-01	桑原FC	0-2 負け	(県リーグ)県C
14	2015-11-08	六郷リーグ	1-2 負け	(県リーグ)県C
15	2015-11-15	多賀城FC	3-1 勝ち	(県リーグ)アーヴィング
16	2015-12-21	東六ヶリーグアルビンア	0-3 負け	(県リーグ)入替戦
1	2016-04-10	FC SENDAI	2-3 負け	(県リーグ)県C
2	2016-04-17	南小泉リーグ	4-0 勝ち	(社会人)県A
3	2016-04-29	広瀬高専	9-1 勝ち	(天皇杯)アーヴィング
4	2016-05-22	七郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)アーヴィング
5	2016-05-29	東北大学生会友	0-6 負け	(天皇杯)松島リトル・リトル
6	2016-06-05	東六ヶリーグアルビンア	1-4 負け	(カブチーム)県C

## 東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2020-12-12 17:01

No	年月日	相手	結果	場所
7	2016-06-12	刈川松島	1-1 負け	(社会人)県C
8	2016-07-10	桑原FC	0-1 負け	(県リーグ)アマチュアG
9	2016-07-17	多賀城FC	1-2 負け	(県リーグ)松島FB
10	2016-07-24	一高済美	3-0 勝ち	(県リーグ)松島FB
11	2016-08-14	田尻FC	4-1 勝ち	(県リーグ)県B
12	2016-08-21	一高済美	5-0 勝ち	(県リーグ)松島FB
13	2016-08-28	七郷クラブ	0-2 負け	(県リーグ)県C
14	2016-09-11	桑原FC	0-1 負け	(県リーグ)アマチュアG
15	2016-09-18	田尻FC	2-1 勝ち	(県リーグ)松島FB
16	2016-10-02	多賀城FC	5-2 勝ち	(県リーグ)県C
17	2016-11-06	FC SENDAI	1-6 負け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
1	2017-04-16	塩釜NTSC*イゼ*	0-6 負け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
2	2017-04-23	一高済美	0-0 PK6-5	(カブチム)松島ワットボーレセンター
3	2017-04-30	登米SC	6-2 勝ち	(社会人)陶芸の里
4	2017-05-07	FC SENDAI	0-3 負け	(社会人)陶芸の里
5	2017-05-14	多賀城FC	2-1 勝ち	(県リーグ)松島ワットボーレセンター
6	2017-05-21	七郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜
7	2017-05-28	バーンズFC*白石	3-2 勝ち	(県リーグ)松島ワットボーレセンター
8	2017-06-25	南小泉カワジ	1-1 引分け	(県リーグ)松島ワットボーレセンター
9	2017-07-09	東北福祉大	0-4 負け	(天皇杯)松島ワットボーレセンター
10	2017-07-16	ヨーロッパ・カクワ	0-1 負け	(カブチム)松島ワットボーレセンター2
11	2017-08-13	バーンズFC*白石	0-1 負け	(県リーグ)県C
12	2017-09-10	南小泉カワジ	4-3 勝ち	(県リーグ)松島運動公園
13	2017-09-17	KEMONOin楳木	2-0 勝ち	(県リーグ)県C
14	2017-09-24	KEMONOin楳木	2-1 勝ち	(県リーグ)アマチュア・スボーリバード
15	2017-10-01	七郷クラブ	0-1 負け	(県リーグ)色町野愛宕山サカカG
16	2017-11-12	多賀城FC	0-1 負け	(県リーグ)松島運動公園
17	2017-11-19	塩釜NTSC*イゼ*	0-5 負け	(県リーグ)アマチュア・スボーリバード
1	2018-04-08	七郷カワジ	3-1 勝ち	(県リーグ)ひとめぼれ補助
2	2018-04-15	FC SENDAI2	0-1 負け	(県リーグ)アマチュア・スボーリバード
3	2018-04-22	田尻FC	6-0 勝ち	(県リーグ)アマチュア・スボーリバード
4	2018-04-29	リーグAストリート東北	0-2 負け	(社会人)めぐみ野C
5	2018-05-06	カブチム	11-0 勝ち	(県リーグ)アマチュア・スボーリバード
6	2018-05-20	刈川松島SC	2-2 引分け	(県リーグ)めぐみ野C
7	2018-06-17	仙台大原学園	7-3 勝ち	(天皇杯)めぐみ野A
8	2018-07-15	六郷カワジ	1-2 負け	(カブチム)めぐみ野C
9	2018-07-22	KEMONOin楳木	0-2 負け	(県リーグ)めぐみ野C
10	2018-09-02	南小泉カワジ	2-3 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
11	2018-09-16	七郷カワジ	2-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C

## 東北クラブ戦績一覧(2011.6~) 2020-12-12 17:01

No	年月日	相手	結果	場所
12	2018-09-23	刈川松島SC	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜サッカースタジアム
13	2018-09-30	FC SENDAI2	1-1 引分け	(県リーグ)松島FBC2
14	2018-10-14	田尻FC	0-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C
15	2018-11-04	南小泉カワジ	3-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
16	2018-11-25	FC SENDAI univ.	0-11 負け	(天皇杯)ひとめぼれ補助
17	2018-12-02	KEMONOin楳木	0-0 引分け	(県リーグ)ひとめぼれ補助
1	2019-04-07	刈川松島SC	0-4 負け	(県リーグ)松島運動公園
2	2019-04-14	宮工カワジ	0-5 負け	(県リーグ)松島FBC1
3	2019-04-21	FC Sendai Wolfie	0-7 負け	(社会人)登米東和運動公園
4	2019-04-28	六郷カワジ	1-2 負け	(県リーグ)めぐみ野C
5	2019-05-05	塩釜FC*イゼ*	1-1 引分け	(県リーグ)七ヶ浜サッカースタジアム
6	2019-05-12	BOA SORTEさくら	4-1 勝ち	(カブチム)松島運動公園
7	2019-06-09	東六ヶ浜アマチュア	0-4 負け	(カブチム)アマチュア角田G
8	2019-07-14	KEMONOin楳木	6-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
9	2019-07-28	愛子.FC	3-2 勝ち	(県リーグ)めぐみ野A
10	2019-08-18	田尻FC	3-2 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
11	2019-09-01	刈川松島SC	1-0 勝ち	(県リーグ)アマチュア・スボーリバード
12	2019-09-15	塩釜FC*イゼ*	1-3 負け	(県リーグ)めぐみ野C
13	2019-09-22	宮工カワジ	0-0 引分け	(県リーグ)めぐみ野C
14	2019-09-29	KEMONOin楳木	4-3 勝ち	(県リーグ)松島FBC2
15	2019-10-06	六郷カワジ	1-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C
16	2019-10-20	愛子.FC	5-3 勝ち	(県リーグ)アマチュア・スボーリバード
17	2019-11-10	田尻FC	2-2 引分け	(県リーグ)色町野愛宕山サカカG
1	2020-07-12	田尻FC	2-3 負け	(カブチム)アマチュア・スボーリバード
2	2020-08-23	登米SC	2-3 負け	(県リーグ)登米東和運動公園
3	2020-09-06	田所FC	1-2 負け	(県リーグ)松島FBC1
4	2020-09-20	SC 7 5	1-6 負け	(県リーグ)登米東和運動公園
5	2020-10-04	刈川松島SC	0-1 負け	(県リーグ)松島FBC1
6	2020-10-25	中新田SC	1-0 勝ち	(県リーグ)めぐみ野C
7	2020-11-08	KEMONOin楳木	0-2 負け	(県リーグ)アマチュア・スボーリバード
8	2020-11-22	六郷カワジ	1-4 負け	(県リーグ)めぐみ野C

2021年3月1日 初版発行

製作者 鈴木修平  
発行所 東北(トンペイ)クラブ  
〒981-0944  
仙台市青葉区子平町11-12  
電話 022-273-5114